



今回のテーマは「灯台下暗し」です。
基本的な海難防止のポイントを見落とすことなく、安全運航を心がけましょう。

船舶海難防止 3つのポイント

第一管区海上保安本部では、船舶海難を防止するため3つの重点項目を定めました。
重点項目は、過去3年間に発生した海難原因と背景を基に定めた必要不可欠なものです。
海に出る前には、次の3つを確実にいきましょう。

- 1 見張りの徹底 → 衝突防止
- 2 定期点検・出港前点検の確実な実施 → 機関故障防止
- 3 気象情報の把握と適切な判断 → 転覆防止

過去3年間に発生した海難原因と海難を起こした人の言葉

「気づいたら目の前に船が…」

○ 衝突海難 → 最も多く発生、見張りをしっかりしていれば防げたものがほとんど

○ 機関故障 → 漁船、プレジャーボートは出航行前点検が重要、
部品の経年劣化、バッテリーあがり
燃料欠乏が多い

「メンテナンスしておけば…」
「残燃料をチェックしておけば…」

「あの天気予報で
出港を止めていれ
ば…」
「あの時、引き返
していれば…」

○ 転覆海難 → 悪天候下での転覆が最多、死に至るケースも

白老沖で転覆海難 死者2名、行方不明者1名

3月25日に白老沖で転覆海難が発生しました。
乗船していた5名のうち、2名が死亡し、1名が未だ行方不明となっています。
原因は調査中ですが、転覆海難は悪天候下で発生しやすく、乗船者が死亡する可能性が高い海難です。

《転覆海難を防ぐために！》

- 最新の気象海象情報の入手
- 気象海象の状況と船の能力に応じた、出港取り止め・帰港の判断
- ライフジャケットの常時着用

《昨年の転覆海難発生状況(北海道周辺海域)》

- 転覆海難は13隻
- 13隻中6隻で合計16名の死者・行方不明者
- 原因のトップは気象海象の確認不足



白老沖で転覆した船

3月の海難隻数及び海難による
死者・行方不明者数(速報値)
2隻、3名
平成24年累計(速報値)
16隻、4名

*原因から見る海難(その3)は今回休載とさせていただきます